

令和8年度 第1回 学校運営協議会（記録）

- 1 日 時 令和8年7月14日（火）10：00～12：00
- 2 場 所 北海道岩見沢高等養護学校 会議室
- 3 次 第

■校長挨拶

本日はお忙しい中ありがとうございます。今年度はこのメンバーで、皆様から様々な御提案や情報をいただき、本校の教育にお力添えをいただけたらと考えている。

■運営者自己紹介（教頭・事務長・総務部長）

□各学校運営協議会委員の紹介

本校職員に続き、大山様、植田様、横山様、山田様、石崎様、疋田様より自己紹介。
（瀬尾様、菅原様、成田様 欠席）

□委員長、副委員長の選任

委員長・・・横山 孝博 様 副委員長・・・植田 一哉 様

■日程説明

■授業見学（第3校時）

各教室で授業見学を行った。

■説明と意見聴取

(1)令和8年度の経営方針について説明（校長）

資料に基づき、学校教育目標等について説明。教務・舎務・事務がそれぞれ業務分担、また、協働しながら、生徒や職員のウェルビーイングの向上を目指し、業務を進めていく。今年度、学校DXの指定を受けることができたので、しっかりと取り組んでいきたい。まとめたものが、別添資料「グランドデザイン」となっている。御承認、御協力いただければと思う。

(2)本校の教育活動について説明（教頭）

資料に基づき、各学科の教育課程等について説明。

本校では、肢体に不自由のある生徒に対し、高等学校に準じた教育を行っている。また、心身の健康保持・体力向上に関する指導として自立活動を設定。個別の教育支援計画や個別の指導計画を策定し、各教科や学校行事など教育活動と関連させて進めている。学科は普通科と職業科（工業科・商業科・生活科学科）があり、特に職業科では基礎的・基本的な知識と技術を学ぶことができる。学習にあたっては、生徒の個々の習熟度や特性に合わせて習熟度別グループでの学習を行っている。昨年度から2期制を実施。進路支援については、進路見学会や職場実習など学年に応じて必要な内容を実施している。生徒会活動や

部活動も盛んに行われている。

(3)これまでの主な教育活動の報告（教頭）

資料に基づき、各部局や生徒会の活動等について説明。

生徒数減少にあたり、オープンスクールやほっこりふれあいプロジェクトで本校の魅力を発信していきたい。

入学式・修学旅行・岩見沢農業高校との交流・避難訓練・一日防災学校・1学年進路見学会・2学年職業講話・学校祭の様子をスライドで紹介。

（質疑応答）

・学校経営方針の資料説明では、教務・舎務・事務で業務分担しつつも共有するとあった。また、舎務のところで『個別支援計画』に基づく職員間の共通理解と一貫性のある指導」とあった。私のところでは、特別支援計画の読み取り、生徒に対する捉えや紐解きが教員間においてまちまちで悩んでいる。

→それについて職員間で日常的なやりとりや協議でのやりとりをする中で集約されていき、合意形成がなされるのではと考えている。

・先生方。職員の方頑張っていらっしゃると思って見させていただいた。舎務とは、どういうものか？

→遠方の生徒の通学保障のために生活の場として寄宿舍があり、寄宿舍指導員が生徒の日常生活を教務と一緒に支えていく。舎務は、寄宿舍の運営や生徒の生活支援を行う業務全般。

■熟議「学校と地域の『できること』を持ち寄り、掛け合わせの可能性を探る」

学校と地域が「できること」でつながり、学びを深め広げるために

・昨年度はドローン体験や寄宿舍クリスマスディナーでの演奏など、本校での教育活動に御協力いただいた。本日のテーマについてアンケートを行い、「本校が地域や外部の方をお願いしたいこと」「外部と関われそうなアイデア①～③」「本校生徒（職員）が地域のためにできること、できそうなこと」について回答してもらった。別紙資料のような様々な回答があったが、「地域の方にゲストティーチャーとしてきてほしい」との回答が多かった。

・アンケートについては、目的（ねらい）次第ではと感じた。例えば「ゲストティーチャーに来てほしい」とあるが、専門性の高い先生の知見を借りたいということなのか、或いは単純に非日常的な場面で生徒の見識を広めるために催しの意味なのか。「キッチンカーを実現したい」というのも、「生徒達のやりたい思いを形にするため」なのかどうなのか。「意義」がクリアになるといいと思った。

→学校の方は「教育の質を上げる」「専門的なことを学んでほしい」というところがメインである。寄宿舍のキッチンカーは、「いろんな人と関わる機会を持つ」こともねらいとしている。教員だけではない知見を、教育の充実という形にし、主体的対話的

深い学びに繋げていけたらと考えている。

- ・生徒が『『自分の意見』を発信する』のはいいことだと思う。受け手側がそれを同じ属性を担う「大部分の意見」として捉えずに、あくまでも「私の意見」の主張として捉えるという構造が大事だと思う。例えば、生徒さんに大学に来ていただいて授業で話してもらうことができる。バスも空いていれば出せる。連携が取れれば。大学の授業を見学してもらうこともできる。生徒の教育課程の方で大丈夫という確認がとれれば。大学はいつでも自由度が高いため、来ていただけるならどんどん来てほしい。また、体育館使用も可能なので、言っていただければと思う。

→北海道教育大学は教員養成大学であり、障害者スポーツ関係の方もいらっしゃるので、学生さんに本校に来ていただくことも可能。お互いにWIN・WINで進めていけるかと思う。

- ・教育方針については賛成。個別性がかなり大事になってくると思う。できる子と難しい子がいて、どこまで合わせてあげるか。子どもの成長が一番わかるのは親。入学時の子どもと卒業時の子どもの目つきの違いを親は敏感に感じ取る。「ここに来て良かった」と思えるよう、この教育方針の中で実現していてももらえたらいいなと感じた。

- ・こちらではAIの教育者を迎えて、使い方を学んでいるところ。そういうAIの指導者を提供することができるので、AIの授業があっても面白いかと思う。
- ・地域のイベントで、空知の食材を作った料理の紹介をしてはどうか。空知の菓子店と共同開発したものなど。興味があり、活動が可能であれば、出店も可能かと思う。日曜に参加することも難しい面があるか？

→昨年、商業科では共同でお菓子の開発をしている。スケジュールが難しいか。また肢体不自由学校の場合、お金が発生すると問題がある。その確認が必要かと思う。

- ・岩教大でもスポーツ体験で出店している。ボッチャ体験での来場者対応として生徒が参加するのはどうか。

→参加するとなれば、次年度になるかと思う。寄宿舍の週末の余暇活動の一つとしてイベントに参加をすることは可能かもしれない。今年度は難しいかもしれないが、このように皆さんからざっくばらんにいろんなお話・意見を頂けることが本当にありがたいと思っている。生徒の学びにも繋がる。

- ・FM番組の中に市の広報、紹介をする枠があり、FMのゲストとして生徒さんに出演していただくことは可能かもしれない。地域と繋がっていくことがまずは大事かなと思う。

- ・バリアフリーについて、歩道は車道と分けるために設けている部分もあるので段差を完全になくすことは難しいと思う。

- ・ウェルビーイングについて、抽象的なので何をやっていけばいいのか難しい。中長期的な視点で色々考えていく必要がある。

- ・DXについて、取り入れることで却って手間が増えてしまうことがある。DXが目的になってはいけない。利便性が高められるものに対して取り入れるといいと思う。教科書のデジタル化もあるが、紙の良さもある。
- ・岩高養の卒業生に正職員の事務として働いてもらっている。事務でずっと座った状態なので、リハの時間を設け、専門職によるリハも受けながら働いてもらっている。総務・事務といった働ける場所の提供、職場実習で利用していただくよう御協力はできるかなと思う。個別の対応にはなるが、卒業生が夏休み中に働く練習をしに来ていたこともある。また、アールブリュット展などでも協力できる。

■校長挨拶

本日はいろんな意見を出していただき、何ができるのか一緒に考えていただくことができた。今日出していただいた様々なご意見を整理して、先生方・現場に戻しながら「何ができるのか」を考えていきたい。

今年度の経営方針も承認していただいたと思っている。学校に対する忌憚のない御意見をいただければ、背景を説明したり何らかの改善を図っていきたいと考えている。本日はお忙しいところありがとうございました。

■諸連絡

第2回は10月～12月の間で日程調整をさせていただきたいと思っているので、宜しくお願いします。